



公明党 田畑たき子

外国籍市民・外国籍児童 12



問国際交流センターのWi-Fi環境整備は、日本語教室を開催している市民団体から意見・要望があったとのことだが、どのようになっているのか伺う。

答文化スポーツ部長 国際交流センターで日本語教室を開催している団体からは、施設内のフリーWi-Fiの設置について要望があるが、現在、同センターには設置はない。しかしながら、利用者の利便性を図るため、令和5年度はWi-Fiを設置するための予算を計上している。



📌外国籍市民児童生徒支援 📌子育て環境の整備



自由民主党 栗原瑞治

かわまるの利便性向上 14



問かわまるの利用には事前の登録申請が必要であり使い勝手が悪い。初回に限りマイナンバーカードを利用できるようにし、初回利用までの煩わしさを改善すべきでは。

答都市計画部長 かわまるは、利用者の予約に応じた時刻・経路で運行するため予約が必要である。また、予約の受け付けと運行管理は運行システムにより行うため、利用者情報の事前登録を行わないまま初回利用することは困難である。他方で利用方法が分からない市民も多いため、引き続き動画を活用して分かりやすい登録手続きの周知を行い、速やかな手続きと登録者カードの発送により、負担感なく登録してもらえるよう検討する。

📌かわまるの利便性向上



公明党 小ノ澤哲也

かわまるの台数を増やせ！ 16



問「かわまるの予約が重なってしまい取れない」との苦情を聞く。かわまるの車両台数を増やすことに対する市民の要望について、市はどのように考えているのか？

答都市計画部長 かわまるは、厳しい財政状況を踏まえ、行財政改革推進計画・アクションプランにおいて、川越シャトルを含めた効果的・効率的な運用に向けた見直しを検討するものと位置付けられており、車両台数を増やすことは難しいと考えている。認知度向上と利用促進に向けた取り組みを行うとともに、利用が集中し、予約が取れない時間帯の移動傾向を分析し、乗り合い率を高められるような対策を調査・研究する必要があると考える。

📌デマンド交通かわまる 📌ワクチン接種の諸課題



政晴会 樋口直喜

市の意志を示す条例と宣言 13



問財政が厳しい中でも市のまちづくりの姿勢や政策課題に対する市の意志や方向性を広く示すため、市独自の条例や宣言を積極的に活用すべきでは。

答市長 条例は、制定の必要性等を十分考慮するとともに義務を課すことまたは権利を制限する場合もあるので、市民や関係者の要望・意見等を踏まえ、慎重に議論し制定することが重要。一方、宣言は、社会情勢、機運の高まり等を踏まえ、市の考えを市民や市内外に広く、分かりやすく表明すべきと判断したものは、積極的に行う。

制定した条例や宣言は、実効性を高めるため十分な周知を行い、積極的に関係者に協力をお願いしていきたい。

📌市独自の条例や宣言



無所属 伊藤正子

介護者支援でまちづくりを 15



問地域共生社会の実現に向けて地域への働き掛けや介護事業者・介護者への支援は欠かせない。市の認識を伺う。

答福祉部長 介護従業者には、抗原定性検査キットを配布し、感染防止策を継続している他、ワクチンの早期接種を呼び掛けた。また、介護保険施設には、衛生用品等の支援、通常は想定されないかかり増し経費の助成を案内した。一方、介護者には相談支援や認知症等に関する講座の開催、介護者間の情報交換の場の提供などを行っている。今後、高齢化の進展により介護者の孤立防止が必要だと認識しており、多様な視点から介護者の不安軽減や見守り・支え合う体制の強化に努めていきたい。

📌持続可能な介護者支援 📌子どもの居場所づくり



公明党 近藤芳宏

地域コミュニティ創出を 17



問地域内分権に向けた次のステップとして、所沢市の事例のように、地域へ配分する予算を交付金とすることについて、市長の考えを伺う。

答市長 所沢市では、地域へ配分する予算を交付金とすることで、より柔軟に地域で活用できるように努めているものと認識している。地域内分権に向けた地域予算制度の進め方については、所沢市をはじめ、各自治体における、それぞれの地域の体制や状況などによっても異なると考えられることから、本市が地域内分権を推進する上では、各市の取り組みを参考にしつつ、本市にふさわしい在り方となるよう取り組んでいきたい。

📌自治体経営